（別紙５）

整 理 番 号　　2022P-022
補 助 事 業 名　　2022年度自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業補助事業
補助事業者名　　一般財団法人 日本自転車普及協会

１　補助事業の概要

（１）事業の目的

本体大会の開催により国内における自転車競技の普及促進、認知拡大を図るとともに開催地域の活性化を目指す。

2022年はコロナ禍のため、2021年に続き開催日数及びステージ数を減、UCIレースクラスを2.2に下げての開催となったが、今後も大会レベル（レースクラス2.1）及び規模（8日間8ステージ）を維持、運営クオリティの向上、自転車競技の人気発展を図ることにより、国内におけるスポーツ文化の醸成、自転車活用推進法に基づいた国民の健全な心身の発達及び自転車文化の創出を目的とする。

（２）実施内容

ツアー・オブ・ジャパン2022開催　(https://www.toj.co.jp/2022/)

日本国内のUCI（国際自転車競技連合）公認のステージレースである「ツアー・オブ・ジャパン2022」を開催した。本来のTOJは、UCIレースクラス2.1、8日間8ステージ（8都府県）の開催であるが、2022年は、2019年末から続くコロナ禍の影響により、UCIの特別許可を得て4日間4ステージに短縮、また、日本政府の水際対策により海外チームの日本への入国が困難となり、レースクラスを2.2に変更、国内チームを中心にアメリカ籍のチームを1チーム含む全16チームを招聘した。

今大会では､昨年入国制限により来日が叶わなかった国内チーム所属の外国人選手が来日、出場が可能となり、TOJにコンディションのピークを合わせてきた選手たちにより非常にアグレッシブなレース展開となったことで、日本人選手にとっても強度の高いレース経験を積む機会となった。特に、大学チームやクラブチームの若手選手にとっては、強豪選手と共にレベルの高いステージレースを走る機会の創出となった。

相模原ステージのゴール・スプリント。雨が降りしきる中、多くの観客が観戦に訪れ、熱狂した。	競輪及び競輪補助事業の PR をコース上に横断幕を掲出したほか、会場内の看板に競輪マークを掲載し、実施した。

（別紙５）

２　予想される事業実施効果

8日間8ステージの規模で開催する大会は、アジアでも本大会を含む3大会のみであり、TOJは、コース設定及び大会運営においてもハイレベルなレースとして認知されているため、海外チームからの出場希望も多いだけでなく、再出場のリクエストも非常に多い。日本人選手、特に若手選手にとっては国内外の強豪選手と共に強度が高く、チームとしての戦略も必要なレースを走る機会となり、選手の競技力向上・強化や経験の蓄積のために重要な位置付けの大会であり、海外の若手選手にとっては、本大会で実績を残すことで海外の上級カテゴリーのチームに移籍、メジャー・レースで飛躍する選手も多く、世界への登竜門となっている。

また、TOJの開催実績、特に2021-22年においてはコロナ禍の開催により、国内の既存のレースや国内の新規レースや自転車関連イベントを企画する自治体や団体より、知見や情報の提供やアドバイスを求められることも非常に多く、国内における自転車競技文化の醸成・発展に大きく寄与しており、自転車競技界にとっても、なくてはならない大会と言える。

また本大会は、第2次自転車活用推進計画が掲げる「目標3：サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現」の施策となる国際的な自転車競技大会であり、社会的のニーズを満たすツールとして、本大会の国際イベントとしての知名度を上昇させることで、ロードレースをはじめとした自転車競技全体の人気拡大や競輪補助事業であることを通じ、競輪の魅力を広く伝える一助となる。

さらに、本大会は開催全ステージで公道を使用したレースを実施することで、自転車の走行空間は車道であり、自転車は軽車両であることを視覚的に分かりやすく伝えることができ、ハード面では自転車通行空間の計画的な整備の推進、ソフト面では自転車による交通安全意識の向上の一助となり、自転車活用推進計画の「目標4：自転車事故のない安全で安心な社会の実現」に寄与する。

３　補助事業に係わる成果物

（１）補助事業により作成したもの

・Tour of Japanオフィシャルマニュアル2022

（２）（１）以外で当事業において作成したもの

特になし

（別紙５）

４　事業内容についての問い合わせ先

団 体 名：一般財団法人 日本自転車普及協会(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)
住　　所：141-0021
東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 4 階
代 表 者：会長　 小泉　昭男(コイズミ　アキオ)
担当部署：事務局（ジムキョク）
担当者名：事業課長　村山 吾郎(ムラヤマ　ゴロウ)
電話番号：03-4334-7952
Ｆ　Ａ　Ｘ：03-4334-7957
Ｅ-ｍａｉｌ：jifukyo@jifu.jp
Ｕ　Ｒ　Ｌ：http://www.bpaj.or.jp